

みずほCustomer Desk Report 2024/11/25号(As of 2024/11/22)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	154.52
TKY 9:00AM	154.16	1.0472	161.40	GBP/USD	1.2587
SYD-NY High	155.02	1.0498	162.45	AUD/USD	0.6509
SYD-NY Low	153.97	1.0332	159.97		
NY 5:00 PM	154.80	1.0425	161.28		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,296.51	▲26.16	日本2年債	0.5800%	▲0.0100%
NASDAQ	19,003.65	▲31.23	日本10年債	1.0800%	▲0.0100%
S&P	5,969.34	▲20.63	米国2年債	4.3804%	▲0.0339%
日経平均	38,283.85	▲257.68	米国5年債	4.3046%	▲0.0055%
TOPIX	2,696.53	▲13.72	米国10年債	4.4110%	▲0.0078%
シカゴ日経先物	38,620.00	▲355.00	独10年債	2.2520%	▲0.0595%
ロンドンFT	8,262.08	▲112.81	英10年債	4.3845%	▲0.0535%
DAX	19,322.59	▲176.42	豪10年債	4.5690%	▲0.0100%
ハンセン指数	19,229.97	▲371.14	USDJPY 1M Vol	11.40%	▲0.25%
上海総合	3,267.19	▲103.21	USDJPY 3M Vol	10.87%	▲0.08%
NY金	2,712.20	▲37.30	USDJPY 6M Vol	10.68%	▲0.04%
WTI	71.24	▲1.14	USDJPY 1M 25RR	▲1.79%	Yen Call Over
CRB指数	289.91	▲1.59	EURJPY 3M Vol	11.07%	▲0.26%
ドルインデックス	107.55	▲0.58	EURJPY 6M Vol	10.87%	▲0.15%

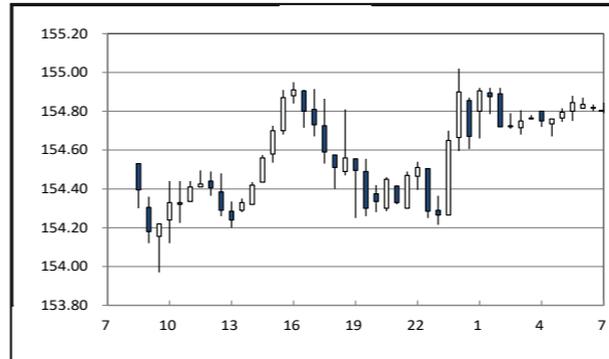
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月22日	08:30	日 全国コア/コアコアCPI	10月 2.3%/2.3%/2.3%	2.3%/2.2%/2.2%
	09:01	英 GfK消費者信頼感	11月 -18	-22
	16:00	独 GDP(前期比)・確報	3Q F 0.1%	0.2%
	16:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	10月 -0.9%/2%	-0.4%/3.3%
	17:30	独 製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	11月 43.2/49.4/47.3	43.0/51.7/48.7
	18:00	欧 製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	11月 45.2/49.2/48.1	46.0/51.6/50.0
	22:30	加 小売売上高(前月比)	9月 0.4%	0.4%
	23:45	米 製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	11月 48.8/57.0/55.3	48.9/55.0/54.3
11月23日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	11月 71.8	73.9

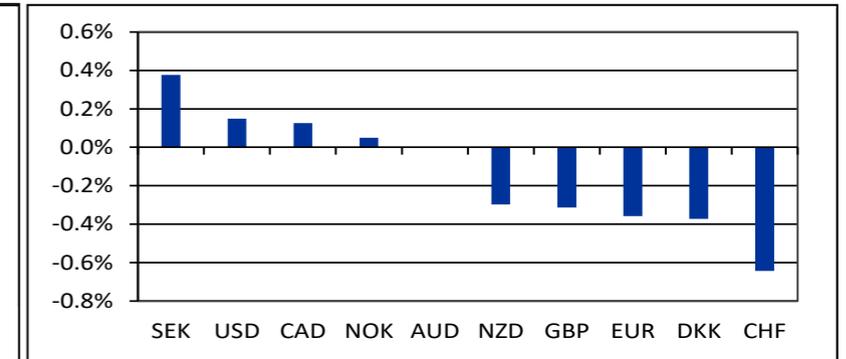
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月25日	14:00	日 景気一致指数・確報	9月 -	115.7
	18:00	独 IFO企業景況感/現況/期待指数	11月 86.0/85.5/87.0	86.5/85.7/87.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	153.30-155.40	1.0380-1.0520	160.00-163.50

【マーケット・インプレッション】

週末に米次期財務長官にスコットベッセント氏が指名された。氏は先月ドル高を支持する発言をしていることから「強いドルは国益」という為替政策姿勢が想起された。ただ、今朝は為替市場全般でドルが弱含んでおり、市場参加者はドル高為替政策期待というよりも、緊縮財政の支持や関税引き上げへの消極的なベッセント氏の思想を見に行き、ドル買いポジションの巻き戻しにつながったか。

今週は11月最終週となるため月末のフロー、また米では感謝祭となるためポジション調整も出やすいだろう。併せてユーロは底が抜けてしまっている状況。ドル/円は上下どちらかに予想を定めるというよりも、まずは週初のマーケットの雰囲気を見定めたい。

東京	東京時間のドル円は154.16レベルでオープン。朝方の予想対比堅調な全国コアCPIを受けて一時153.97まで下落するも、その後は公示に向けて上昇し下げ幅を縮小。午後はオセアニア通貨の下落に合わせて円も売られ、154.87レベルで海外に渡った
ロンドン	本日のドル円はクロス円の動きにつられ緩んだ。154.87レベルで始まったが、ロンドン時間に154.25の安値を付け 154.51レベルでニューヨークに渡った。ユーロは、欧州のPMIを受け欧州景気先行懸念から急落した。ユーロは1.0465レベルで始まり、約2年来の安値1.0332を更新した。1.0408レベルまで回復しニューヨークへ渡った。尚、市場は現在、ECBが12月に50bpの利下げを実施する確率を約15%織り込んでいる。
ニューヨーク	海外市場のドル円は154円台半ばでスタート。米金利の上昇を受け、154.95まで上昇。しかし、続いて発表された予想を下回ったユーロ圏PMIを背景に、独金利の低下に米金利も低下し、ドル円は一転じり安で推移し、154.51レベルでNYオープン。午前中は米11月サービス業PMIが予想を上回り、市場はドル買いで反応し、155.02まで上昇。しかし、続いて発表された米11月ミシガン大学消費者マインド指数(確報値)と1年先のインフレ期待が下方修正された事が嫌気され、154.70付近まで反落。午後は週末を控え、154.80付近で動き乏しい推移が続き、154.80レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.04台後半でスタート。独11月サービス業PMIとユーロ圏11月サービス業PMIが軒並みに予想を下回った事を受け、ユーロ圏のリセッションが懸念され、売りが優勢となり、1.0332まで売られる。その後は売り一巡となり、1.0408レベルでNYオープン。午前中は米金利が上昇幅を拡大する動きが一段の重しとなり、1.0393まで反落。午後は材料難の中、1.0434近まで反発し、1.0425レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。